

1. 事業の位置付け

事務事業名	中学校理科教材等充実事業		
事業担当	教育総務部 教育総務課		
予算科目	01-100301-050000	事業種類	○ ハード ● ソフト
総合計画の位置付け	01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	01	①〈人間力〉 一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ	
	06	6 教育施設・機能を充実する	
根拠法令等	理科教育振興法		
対象・受益者	生徒・教員	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/> 】		
目的・目標		事業の概要	
観察・実験を通して、生徒の問題解決の能力を育て、科学的な見方や考え方が養われています。		科学的な知識、技能及び態度を習得させるとともに、工夫創造の能力を養うため、理科教材を充実します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	理科教材整備校数						単位	校
	説明・算定式	整備対象校数：全15校							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			15	15	15			
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
成果指標①	指標名	理科教育等設備整備基準整備率						単位	%
	説明・算定式	整備金額÷整備基準金額×100							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			50.6	52.4	54.1			
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果									
各学校で計上した理科教材購入費に各校150千円を追加配当して理科教材を整備し、理科教材の充実を図った。									
平成19年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	理科教材の整備は市の施策として充実されるべきものと考えている。理科教材購入費を追加配当することにより、学校の理科教材が整備されている。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	文部科学省で設定している理科教育等設備基準に対し整備率が低いことから継続して教材教具の整備に努める必要がある。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	科学的な知識、技能及び態度の習得と工夫創造の能力を養い、理科好きな生徒が増えるように理科教材の整備を図る。	● 高 ○ 中 ○ 低
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	学校で予算執行するため取りまとめに時間がかかるので検討が必要である。	○ 高 ● 中 ○ 低	
今後に向けた課題の分析 早い時期に国の設備基準に達するよう予算の確保に努める。				

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				理科教材の充実	理科教材の充実	理科教材の充実		
財源内訳	国庫支出金	0	0	193	200	250	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	8,397	7,320	11,340	0	0
事業費 (A)		0	0	8,590	7,520	11,590	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	100.00				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.12	0.12	0.12	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	1,007	1,007	1,007	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	9,597	8,527	12,597	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
○現状の規模で継続 ●拡大して継続 ○縮小して継続 ○廃止 ○休止 ○終了 ○他事業と統合	
<判断理由> 各学校の理科教材購入費の要求額に追加配当を行うことで理科教材の整備を進める。	
平成21年度取組方針	
理科教材を整備することにより学習環境の向上を図る。	
課長コメント	教材・教具等の充実、より良い教育活動を推進する上で不可欠なものであり、今後も継続して整備を進めていきたい。